

在宅医療研修会

「在宅医療のさらなる広がりを目指して」

令和3年12月1日（水）

院内での活動状況と在宅医療に 向けての取り組み

白山石川医療企業団

公立松任石川中央病院 看護部

特定行為修了生

「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」

「腹腔ドレーン管理関連」

「末梢留置型中心静脈注射用カテーテル挿入」

「中心静脈注射用カテーテル抜去」

副看護師長 樋口 陽子



白山石川医療企業団

公立松任石川中央病院

当院の概要

○病床数 305床

一般病棟：275床(7:1看護)

精神病棟：30床(13:1看護)

平均在院日数：12.8日(2021年10月)



白山石川医療企業団の役割

(住み慣れた地域で安心して暮らせる“まちづくり”)

白山石川医療企業団
公立松任石川中央病院
構成団体：白山市・野々市市・川北町



近隣の医療機関

居宅介護支援

訪問介護

訪問看護ステーション

複合型サービス事務所

地域包括
支援センター

つるぎ病院

吉野谷診療所
中宮診療所
白峰診療所

当企業団の特定看護師

当企業団で実施している特定行為は以下の行為です

＊持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
(公立松任石川中央病院・公立つるぎ病院・

吉野谷診療所)

＊脱水症状に対する輸液による補正

(公立松任石川中央病院・公立つるぎ病院・

吉野谷診療所)

＊中心静脈カテーテルの抜去

(公立松任石川中央病院・公立つるぎ病院)

＊末梢留置型中心静脈用注射カテーテルの挿入

(公立松任石川中央病院・公立つるぎ病院)

＊急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理

(公立松任石川中央病院)

＊感染徴候がある者に対する薬剤の臨時投与

(公立つるぎ病院)

＊腹腔ドレーンの抜去

(公立松任石川中央病院)

院内外への周知啓発

●白山市松任石川中央病院広報誌での周知

●ホームページへの掲載

●地域研修会・交流会での説明

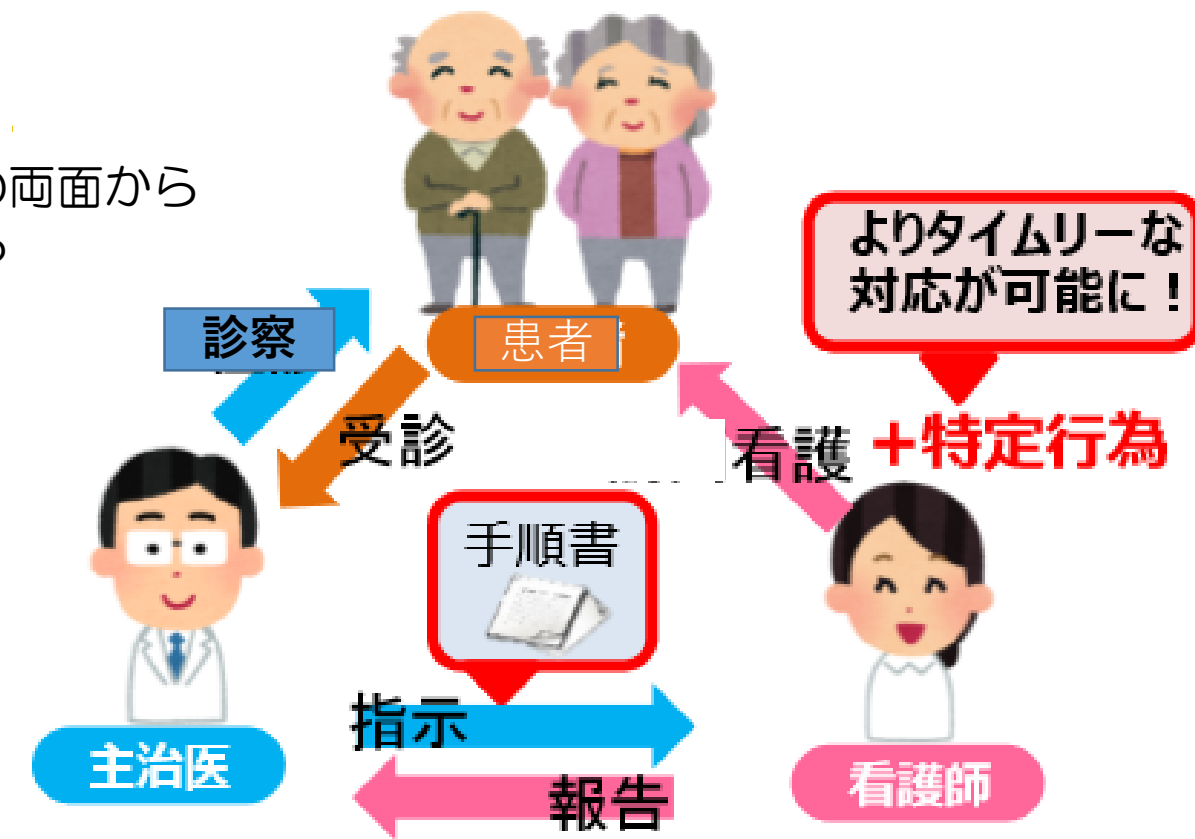


センター長

看護師特定行為研修センター

看護師特定行為と今までの診療の違い

「治療」と「生活」の両面から
患者・利用者を支える



臨床推論をもとに、
「診る」と「看る」によっ
て患者を全人的にとらえ、
医療・看護を提供する

手順書を基に、医師の指示を待たずに早期に判断することによって、患者の重症化を防止する



看護師特定行為とこれまでの診療の違い

「治療」と「生活」の両面から
患者・利用者を支える



よりタイムリーな
対応が可能に！

臨床推論をもとに、
「診る」と「看る」によっ
て患者を全人的にとらえ、
医療・看護を提供する

求められる姿
医師の考えを理解し適切な
自己判断ができる

手順書を基に、医師の指示に従って患者の重症化を防止する



特定看護師の役割

ケアの質の 向上

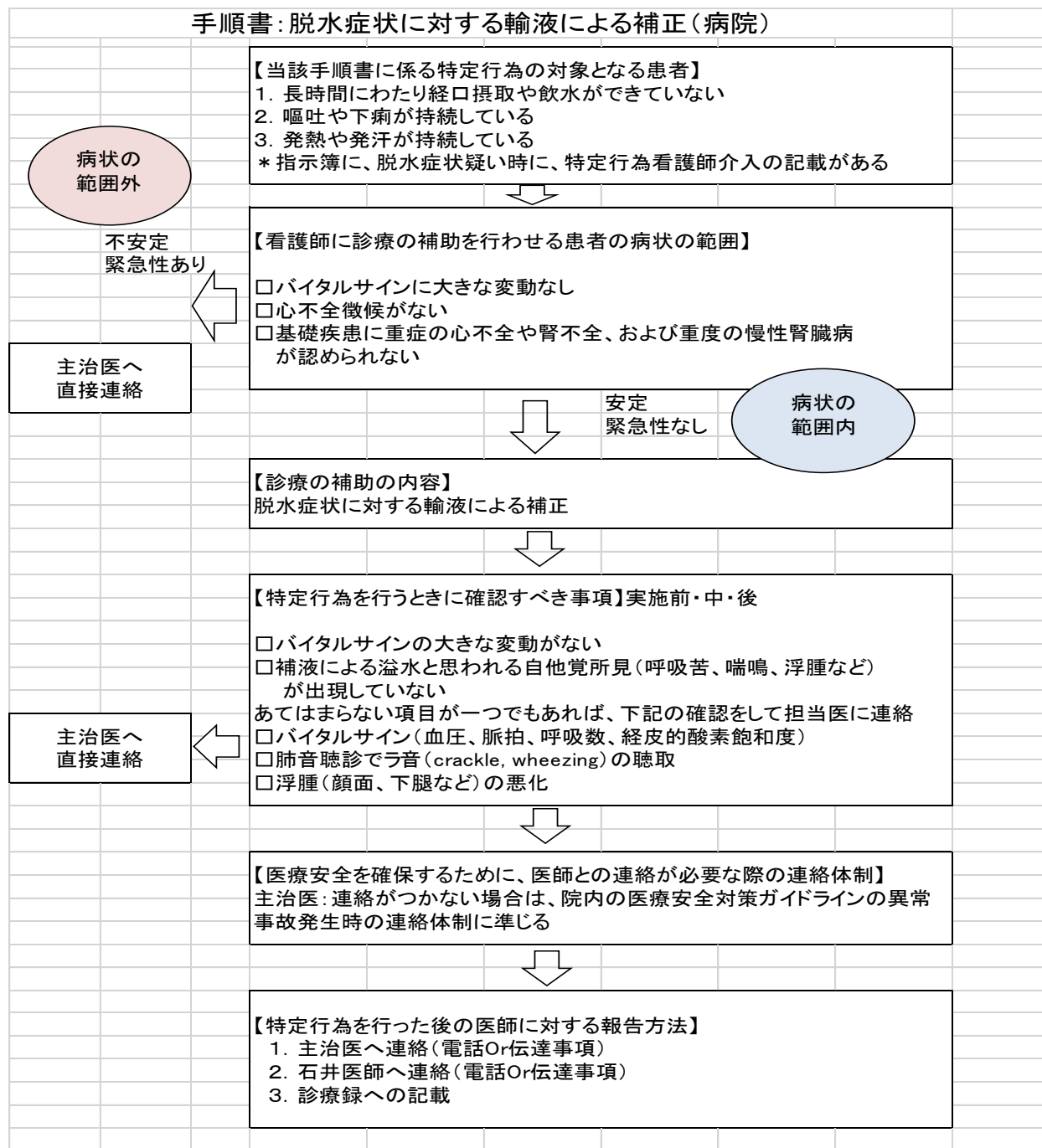
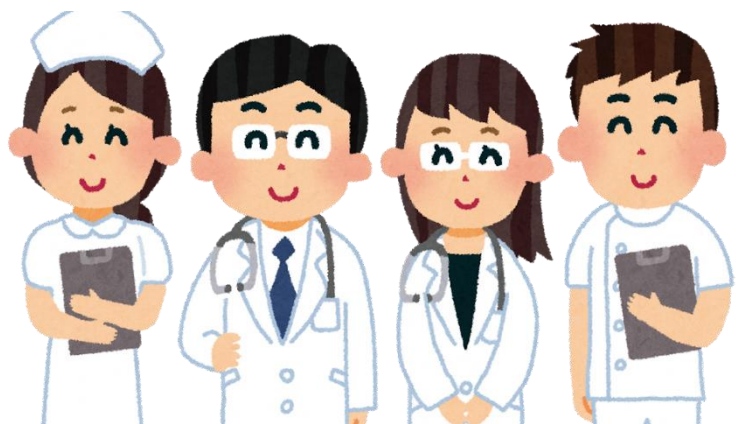
- 症状の重症化の予防
- タイムリーな看護（医療）の提供
→ 治療開始までの時間短縮
- 後進の育成

タスクシェア リング

- 多職種間のコーディネート
- 医師への正確で迅速な報告
- 医師不在時の医療の提供
- 医師の負担軽減

手順書

(例:脱水症状に対する輸液による補正)



PICC挿入対応スケジュール

2021年11月

× は対応不可

○ 赤丸は特定看護師二人のため透視室対応可能日

月日 氏名		1	2	4	5	8	9	10	11	12	15	16	17	18	19	22	24	25	26	29	30	
		月	火	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	水	木	金	月	火	
	勤務	明	ね	日	日遅	日	休	日委	日	日代	明	休	日代	日	日	夜	休	日	日	日遅	日	
	PICC 対応				×	14時以降		×	14時以降	×			×	×				14時以降		×	14時以降	
	3444 対応			○	○	○			○				○		○			○		○		
	勤務	日リ	休	夜勤	明	休	日	長KQ代	日	夜勤	日	日	休	日	長日	日	長日	休	日KQ	休	日	
	PICC 対応						NST実 地修練		○		○	○		○		○	○		KQない時 PM		○	
	3444 対応	○					○				○	○		○		○	○				○	
	勤務	休	長	明	休	明	休	日	午後 研	日	長	夜	明	休	年	夜	明	休	長	休	日	
	PICC 対応													○								
	3444 対応		○					○		○									○			
	勤務	日	日	日	日宿	免	日	日	日	日	日宿	免	日	日	日	日	日	日宿	免	日	日	
	PICC 対応			PM 訪問 診療	PM 訪問 診療				PM 訪問 診療	PM 訪問 診療			14時 以降	PM 訪問 診療	PM 訪問 診療	△	14時 以降	PM 訪問 診療				

当院での介入症例を紹介

胃癌患者 70歳代女性

手術目的にて入院⇒術前評価で低栄養のため栄養管理が必要になった

- PICCポート挿入後TPN開始（手術は試験開腹で終了）
- TPN併用で食事開始するが摂取量は少ない⇒特定看護師も含めたNSTが介入（食事形態の変更など）⇒徐々に摂取量が増えた
- 腹痛や嘔気などの自覚症状はなく、ADL（日常生活動作）は自立
- 治療方針は外来化学療法継続とHPNを導入し在宅療養⇒約1か月で自宅退院へ

特定看護師と病棟看護師による、在宅療養へ向けての栄養評価と栄養指導、PICCポートの管理指導

退院前連絡会の実施、訪問看護の調整、外来化学療法の継続

本人は手術で癌は取り切れなかったが、点滴をしながらでも自宅退院出来ることを喜んでいた

当院での介入症例を紹介

胃癌患者 70歳代女性

手術目的にて入院⇒術前評価で低栄養のため栄養管理が必要と判断

- PICCポート挿入後TPN開始（手術は試験開腹で終了）
- TPN併用で食事開始するが摂取量は少ない⇒特定看護師も含めたNSFが介入（食事形態の変更など）⇒徐々に摂取量が増えた
- 腹痛や嘔気などの自覚症状はなく、ADL（日常生活動作）は自立
- 治療方針は外来化学療法継続とHPNを導入し在宅療養⇒約1か月で自宅退院へ

特定看護師と病棟看護師による、在宅療養へ向けての栄養評価
PICCポートの管理指導
退院前連絡会の実施、訪問看護の調整、外来化学療法の継続

ポート作成部位
を本人と一緒に
考えた

退院支援に関わり
PICCポートの管理
を患者サマリーに
記載

本人は手術で癌は取り切れなかったが、点滴をしながらでも自宅退院出来ることを喜んでいた

今回の症例からみる連携

- PICCに関する医師からのコンサルテーション
- NSTと協働し栄養評価と食事変更等の実施
- 病棟看護師と在宅療養に向けた栄養指導とPICCポート管理の指導
- 訪問看護師への調整

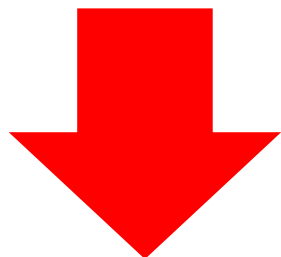


当企業団特定看護師の活動内容

令和3年度特定行為活動報告

◆4月～6月（3ヵ月間）の活動報告（区分関連件数）

4～6月	栄養及び 水分管理 関連	PICC管理 関連	CVC管理 関連	透析管理 関連	感染管理 関連	腹腔 ドレーン 管理関連
合計	23件	78件	14件	16件	11件	21件



活動実績を報告
3か月毎に件数をまとめています

◆7月～9月（3ヵ月間）の活動報告（区分関連件数）

7～9月	栄養及び 水分管理 関連	PICC管理 関連	CVC管理 関連	透析管理 関連	感染管理 関連	腹腔 ドレーン 管理関連
合計	62件	88件	20件	20件	11件	18件

NST回診への参画

- 低栄養患者の評価、助言
- 脱水患者への早期介入、電解質の異常の補正や高カロリー輸液の調整の提案
- PICC対象者の早期発見と栄養補正



PEGワークショップでの特定看護師の活躍



特定行為研修の指導

- 看護師特定行為研修指導者講習会参加による評価方法の確認
- 演習、実習時のファシリテーターとしてのスキルアップ
- たゆまぬ自己研鑽



PICC挿入の場面





フィジカルアセスメントの演習場面



特定行為看護師の今後の展望

- 看護の質の向上、患者へのメリットが拡大できるように広い視野で今後の活動を考えていく
- 在宅への可能性の幅が広がる
- 実績を積む事によって医師とのコミュニケーションをとりながら活用してもらう機会を増やしていく
- スキルを活かした患者に頼りにされる看護師を目指す



特定看護師連絡会



特定看護師の課題

- ・特定行為について院内外への周知の継続
- ・手順書をもとに特定行為を指示する医師との協働
- ・同様の区分を修了した看護師が、特定行為を実践できる継続的なシステムの構築
- ・自らの特定行為に対するモチベーションの保持
- ・依頼を受けてからのタイムリーな実施
- ・チームアプローチのための多職種連携及び調整



ご清聴ありがとうございました。